



# いわいずみ



## P 2 新町長と議会に期待すること

町民の皆さんを取材しました

## P 6 畑わさび生産を支える

## P 8 町の考えを問う

(6 議員が一般質問)

## P 13 どうなりゃんしたあの提言

## シリーズ キラッと光る人 13

岩泉猟友会クマ対策班の澤里寛行さわざとひろゆき(袋綿)さんです。遠隔でのハコ畏の見守りシステムを開発し、効率化と安全性の確保をはかり、ドローンを活用してクマの動向監視、追い払いなど、精力的に活動しています。

# 新町長にこれ<sup>を</sup>期待

新町長の就任、そして議会も  
新体制発足して間もない。  
大きな節目を迎えた我が町を、

フットワーク軽く、  
町民の声をよく聞いて、  
自ら先頭に立って行動  
する町長であって欲しいです。



佐藤 守さん (有芸)

住んでいる人が楽しい  
のが一番です。それ  
ぞれの町民の皆さんの  
力が発揮できる町にし  
て欲しいです。



早野 由紀子さん (岩泉)

多くの人から選ばれ  
る町作りに期待します。  
移住したくなる町、帰  
りたくなる町、残りた  
くなる町。多くの人  
が未来に希望を持って  
生活できる環境を整え  
てほしいです。



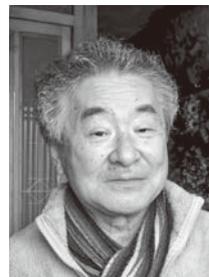
箱石 大樹さん (岩泉)

閉校した学校に企業  
誘致し、活用しながら、  
町内に住んでいる人の  
雇用の場を確保して住  
みやすい町にしてほし  
いです。



橋場 利光さん (大川)

日々進化する他市町  
村の電話対応に劣ること  
のないよう、声の玄  
関口にも最大の配慮と  
指導を望みます。



佐々木 宏さん (岩泉)

高齢者で病院にかか  
るといっても、宮古、久  
慈、盛岡は車も無いし  
大変。なんとしても済生  
会病院の医師の確保を  
はじめ、岩泉町の医療  
を今以上に向上させるよ  
うに力を尽くしてほしい。



高橋 利雄さん (乙茂)

# 議会にこれを期待

町議会議員になったときの初心を貫いて活動していただき、安心して暮らせる町になるよう期待しています。



中村 俊吉さん (安家)

表面にはなかなか出てこない町民の困りごとをしっかりと把握することに努め、また、その情報收拾にも尽力し、町のためにしっかり働く議会・議員であることを望みます。



阿部 春枝さん (下岩泉)

若い世代には、子育て、働き方、たくさん課題があります。もっと目を向けていて欲しいです。



佐々木 滋子さん (岩泉)

変化する社会情勢と町民生活の双方に目を向け、常に的確な判断を下せる議会であるべきだと考えます。



三浦 祐夫さん (小本)

皆がよくやっていると思う。住めば都というけれど、住めば地獄になっている気がする。つまりいた時、また、困っている者にも支援の手が伸びるように議論してほしい。



中村 勝美さん (穴沢)

若者が町に定着し、一度町外に出た人も安心して戻ってこられるような環境づくりを中長期的な視点で継続して進めていただければと思います。



差畑 正樹さん (岩泉)

町民の皆さんはどう見ているのか。  
新町長と議会への期待について、  
町民の皆さんの本音を聴きました。

次は、有害鳥獣対策の予算を可決

# 有害鳥獣対策の予算を可決

## 一步も引かない鳥獣対策で町民のくらしを守る



日常を脅かす記録。対策は急務である。

### 12月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1億3695万円	115億1814万円
特別会計		
国民健康保険	1621万円	10億7855万円
後期高齢者医療	131万円	1億5106万円
介護保険(事業勘定)	575万円	14億8656万円
介護保険(サービス勘定)	17万円	1247万円
観光事業	127万円	1億8777万円
上水		
収益的支出	△4627万円	4億1877万円
資本的支出	△3665万円	2億3428万円
下水		
収益的支出	1781万円	1億7663万円

岩手県人事委員会勸告に伴い、一般職の給料、勤勉手当、寒冷地

手当が引上げとなり、今回の改定による影響額は、3970万円程度です。

県人勸に伴い一般職の給料など引き上げ

手当が引上げとなりました。

7年第4回定例会は、12月4日から9日までの6日間の会期で開きました。4日と5日には、一般質問が行われ6人の議員が登壇(質問の内容などは8ページから11ページまで)。深刻な有害鳥獣被害対策の予算や継続する物価高騰に対応した灯油等購入費助成事業などを含む、7年度一般会計第4号補正予算など15議案を、全て全会一致で可決しました。

12月定例会で可決された  
主な補正予算事業



**三陸鉄道の経営安定化対策  
(沿線市町村の負担金) 469万円**

三陸鉄道株式会社に対し、運行の維持確保と経営の安定化を図るため、岩手県と久慈市から大船渡市までの沿線市町村が支援を行うもの。



**灯油等購入費助成  
1170万円**

灯油価格高騰での家計負担を軽減するため、住民税非課税の高齢者世帯・障がい者世帯・ひとり親世帯と生活保護世帯に対し、暖房費の一部を助成。1世帯当たり1万円、生活保護世帯は8千円を支給。



**有害鳥獣捕獲等報償費  
1211万円増額 (計4173万円)**

増え続けるニホンジカ、イノシシ及びカワウの有害鳥獣被害対策の予算を増額し、農作物の被害損失を抑える。



**畑わさび  
渇水対策  
実証事業  
300万円**

わさび圃場の渇水対策のため、かん水設備を設置し、効果検証する。



完成間近の小川地区総合交流センター

**小川地区  
総合交流センター完成  
支所スタートは1月下旬予定**

小川支所の機能も担う「小川地区総合交流センター」が間もなく完成します。小川地区の拠点として、行政機能や集会所機能、さらに防災機能など、複合的な役割を担う予定です。



8月5日時点の様子

**◆設置条例を改正し新  
施設を規定**

町が提出した、現在の小川生活改善センターを廃止し、新たに「小川地区総合交流センター」を設置するための条例改正案が、議会で可決されました。

新施設は門字町66番地1に位置し、令和8年1月末の施設完成を目指します。今回の改正では、同センターを含め、各地区の基幹集落センター等についても、従来の施設利用対象区域区分を廃止。誰もが利用可能な「公の施設」としての位置付けが明確になりました。

次は、畑わさび生産を支える

# 畑わさび生産を支える 渇水対策実証実験予算を可決



天候に大きく左右されない、安定した畑わさび生産を模索する

条例補正予算審査特別委員会（小松ひとみ委員長）は12月9日、付託された条例8件、補正予算7件を審査。全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において全会一致で可決しました。審査では、対策が急務となつている有害鳥獣対策予算の増額や、渇水被害を受ける畑わさび対策の実証実験に関する補正予算などに質疑がありました。

ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約しお伝えします。

## わさび 渇水対策事業選定方法は 深刻な地域から募り選定

**問** 事業実施場所の選定方法は。

**答** 農協と生産者と相談し、渇水が特に深刻な地域や協力可能な農家を募り選定。圃場の状況に応じて決定した。

**問** 渇水対策事業の効果にも設置する計画はあるか。

**答** 圃場やワサビの成長に応じて対応する計画である。

**答** 渇水は町内全域で発生している。ただし、圃場ごとに状況が異なる。今後、実証事業で効果を確認し、成果が認められれば他圃場にも設備設置を検討する。

**問** 圃場への散水の方法は。

### まのこゝろ



#### 渇水対策の効果に期待

畑わさび農家における渇水対策としては効果が見込めると考えます。条件が整っていれば試験農家以外にも設備投資をして頂き、安定したわさびの成育と出荷に期待をします。

小笠原竜慈さん  
(尼額)

### おしえてぴーちゃん

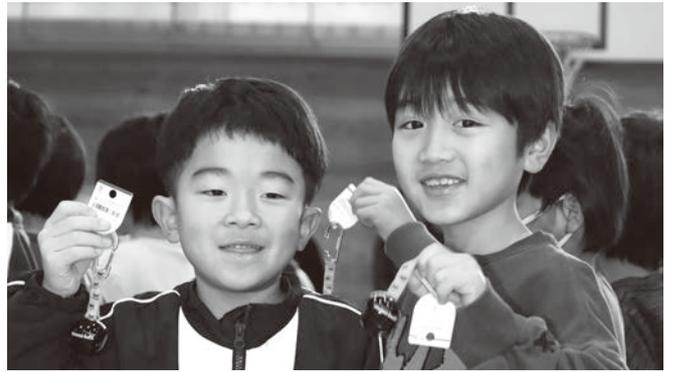


畑わさび渇水対策実証実験って？

近年の天候による渇水対策として、畑わさびの圃場に水タンクを常設し、沢水やポンプアップした水を利用して散水を実施する事業です。散水方法は、各圃場の条件に最適な方法を検討しています。

\*事業費（補助率10/10）  
300万円（3カ所×100万円）

## 教育 スクールバスで安全確保を 安全安心を第一に検討する



寄贈されたクマ鈴を手に笑顔を見せる岩泉小児童。  
子どもたちの安全を願い、株式会社モンベルから町内の  
児童に贈られました。

**問** ツキノワグマに対  
する安全確保のた  
めのスクールバス送迎  
はいつまでか。

**答** 状況を見ながら決  
定することとして  
いたが、2学期終了ま  
では実施する。

**問** 3学期以降でも、  
希望する児童生徒  
に対してはスクールバ  
ス通学を実施しては。

**答** あまり過保護にな  
り過ぎることも考  
慮し、一方で児童生徒  
の安心安全も第一に考  
えなければならぬ。  
十分検討していく。

### まずの声



子どもの安全  
続けてほしい

藤澤真衣子さん (小川)

子どもの安全を考え、車で  
送り迎えしていました。今回  
スクールバスに乗せてもらえ  
るのはとてもありがたいです。  
できれば今後も続けてもら  
うことを希望します。

## 銃猟 緊急銃猟の早急な実施を 銃猟のリスク軽減が必要

**問** 鳥獣保護管理法の  
改正により、緊急  
銃猟マニュアルを作成  
し、来年4月から運用  
を目指すとのことであ  
るが、早く実施すべ  
きではないか。

**答** 鳥獣被害対策実施  
隊員の皆さんに依  
頼しなければならぬ  
。コンセンサスやリ  
スク軽減を図る必要  
性やハンターの皆さん  
が安心して緊急銃猟に  
臨む態勢を作る必要  
があり、来年4月の運  
用を目指して進めたい。

**問** クマ被害が出てい  
ることから緊急銃  
猟マニュアルがなく  
てもできることがある  
のではないか。

**答** 今回の改正は、ハ  
ンターに対して荷  
が重くなる部分もあ  
る。マニュアルがなく  
ても動くことはでき

## 畜産 種雄牛センターの負担は 頭数により各組合が負担

**問** 種雄牛管理セン  
ターに係る予算  
3,510万円の内訳は。

**答** 工事費は宮古川井  
のセンター撤去に  
伴う受入が生じた施設  
の改修費。補助金はお  
が粉やロールなどを運  
搬する小型のローダー  
購入費用に充てられる。

**問** 施設の運営主体と  
運営経費の負担は  
どうなるのか。

**答** 町が種雄牛管理組  
合に無償貸付し、  
経費は各組合の頭数に  
応じた負担金で賄う。  
川井側の受け入れに合  
わせ、現在組合の再編  
や経費を調整中である。



民家近くの柿を狙い、木に登るクマ

が、ハンターの皆さん  
の責任もあり、一連で  
動かないと目的達成が  
難しい。

**問** 緊急銃猟の制度に  
より市町村長の判  
断、責任で実施され  
るが、県、警察、町  
の役割と対応は。

**答** クマへの対応は、  
昨年頃から連携し  
ている。先般の柿の木  
へのクマの居座りは、  
警察に依頼し、特別  
プロジェクトチームに  
来てもらった。近隣住  
民には避難してもらい、  
何とか住民に直接被害  
はなかった。

### まずの声



放牧前の大切な時期 佐々木松郎さん  
一生懸命世話をする (釜津田)

種雄牛の冬場の管理飼育は放牧時に  
しっかり働いてもらうためにもすごく大切な  
時期でもあるので、ここの種雄牛管理組合  
で一生懸命に世話をしたいと考えています。

次は、町の考えを問う



# 町の考えを問う

6人の議員が登壇

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。12月定例会では、6人の議員が登壇し、町政課題への提言や質問を行いました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容（9ページから11ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。

**千葉 泰彦 議員 (9ページ)** ●人口減少下の財政運営は

\*その他の質問  
限られた資源での地域経営について

**菊池 孝広 議員 (9ページ)** ●マイナカードの更新は

\*その他の質問  
野生鳥獣による被害防止対策について  
災害の復旧・復興について

**大山 幸真 議員 (10ページ)** ●公共交通の見直しは

\*その他の質問  
保育園留学について

**林崎 竟次郎 議員 (10ページ)** ●物価高騰の支援策を

\*その他の質問  
熊対策について  
地域新電力について

**畠山 和英 議員 (11ページ)** ●クマ被害防ぎ捕獲強化を

\*その他の質問  
本町における物価高対策について

**三田地久志 議員 (11ページ)** ●町長2期8年間の思いを



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。  
スマートフォンはこちらから。



千葉 泰彦議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字の  
ひとりごと

未来への  
負債残さず  
路残す

※1 LINE等と同じような仕組みのビジネス用途向けの情報ツールをいいます。  
※2 DX…デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術を活用し業務や組織を根本的に変革し、新たな価値を創造することなどを指します。

## 問 人口減少下の財政運営は 答 健全な財政運営に努める

**問** 平成元年度と令和7年度予算を比較。一般会計は75億円から105億円で1・4倍に。正職員は262名から183名で70%に減。人口は約1万5千人から7千8百人と50%減。町民一人当たりの執行金額は48万円から134万円と2・

7倍。岩泉町の人口一人当たりの町民所得は228万円で、執行金額は町民所得の59%を占める。正職員一人当たりの執行金額は、平成元年の2870万円が令和7年には5763万円と2倍超の高い負担。現在の人口規模で適正な予算規模は。

**町長** 令和6年度の歳出決算ベースの試算で、今後の一般会計総額は95億円前後で推移の予測。毎年度5億円の財源不足の見込み。今後に必要な行政サービスを安定的に継続し、町民生活向上のための投資的支出も行うよう健全な財政運営に努めてまいります。



子どもたちの未来のために取り組みます。

**問** 業務改善などの取り組みは

**町長** 生成AIの活用やビジネスチャット※1による職員間の連絡方法の効率化に取り組んでいる。外部有識者など外部人材の活用でDX※2を推進し、業務の改善改革を進める。

**町長** 農家の経営を圧迫する災害級の被害と認識している。町民一体となって取り組む。

**問** 野生鳥獣による農作物等への被害対策に、庁舎内一体となった対策を探るべきではないか。

**町長** 郵便局との業務連携等を視野に入れ、今後検討していく。

**問** マイナンバーカードの5年更新を各支所でも行い、高齢者など町民の利便性を考慮すべきではないか。

**町長** 町民の生命・財産を守る道路整備を町全体で最優先課題として取り組んできた。未

**問** 中居町長が進めてきた、復旧・復興とそ



安心できる窓口であってほしいです。

## 問 マイナカードの更新は 答 郵便局との連携を検討



菊池 孝広議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



17文字の  
ひとりごと

マイナカード  
医療機関で  
重宝し

曾有の災害を経験し、不断の努力の積み重ねと、持続可能で安全・安心なまちづくりが、いかに大切であるかを学んだ。人口減少や少子高齢化などの課題解決に向け、希望あふれるまちづくりに、関係機関等と一致団結して取り組んでいくことをお願い申し上げます。



大山 幸真 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



### 問 公共交通の見直しは

### 答 ニーズを捉え再構築

問 広大な町域と高齢化により、公共交通の維持と住民の移動手段確保が重要課題だ。

答 整え、町民ニーズに対応するため、今後のダイヤ見直しや減便をどう進めるのか。

多額の公費で運行中の町民バスは利用者減少・赤字運行であり、デマンドタクシー等との公費バランスをどう

町長 公共交通は、町民バスの赤字と高齢化が課題。公費抑制とニーズ対応の両立のた



町民バスの利便性向上も課題



留学で  
子らと育む  
移住の芽

め令和9年度の次期計画で減便等を含む交通網を再構築する。

### 問 人口減少や担い手

不足対策として、将来的な移住定住促進、関係人口・交流人口の拡大が不可欠と考える。

「保育園留学」は、自然体験や食育などを通じて町の魅力を体感してもらい、関係人口の増加、ひいては移住定住に繋がる戦略として期待でき、これを含めた新たな移住定住策をどう考えているのか。

町長 関係人口創出の画期的な戦略と認識し積極果敢に取り組むが安全確保のため、まずは受け入れ体制を調査研究する。

### 問 物価高騰の支援策を

### 答 町民生活に寄り添う



レジで直面する、暮らしの現在地。

### 問 とどまる気配のない

物価高騰から町民と生業を守るために刻も早い支援が必要だ。そこで支援策としてこう提案する。

一つは、予算を倍増しプレミアム付き商品券を年2回発行し、年間を通して使えるようにすること。

### 二つ目は、水道基本

料金を四カ月間無料にすること。東京都は今年の夏の四カ月間、岡山県奈義町では五月から四カ月間、美咲町では七月から三カ月間水道基本料金を無料にしている。町長の所見を伺う。

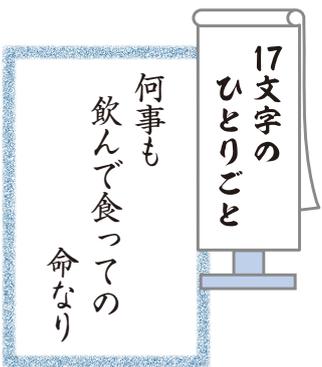
### 町長 現在様々な支援

の方法を幅広くリストアップしている段階であるので、併せて検討させていいただき、今後国から示される交付金の配分額を踏まえ、町として実施すべき支援策を見極め、町民生活に寄り添った支援を執り進めてまいりたい。



林崎 竟次郎 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



何事も  
飲んで食っての  
命なり



**畠山 和英** 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



**問** 集落周辺個体の捕獲強化等のため、クマ捕獲等手当の支給や、春季捕獲、年間猟期を県に要望すべきだ。

**町長** 狩猟期の捕獲等への報償費の支給は、有害捕獲件数の増加、緊急銃猟実施などと一体的に検討を進める。

**問** 町鳥獣対策管理官（仮称）の配置や鳥獣管理士の育成等体制の強化を図るべきだ。

**町長** 現行体制の対応では限界にきている。緊急銃猟の実施等情勢の変化に対応できるよ

**町長** 関係機関等との連携を強化し、来年度からの運用に向け必要な予算措置や実施マニュアルの作成等を行っていく。

17文字の  
ひとりごと

住民の  
命を守る  
クマ捕獲

**問** クマ被害防ぎ捕獲強化を

**答** 捕獲報酬は一体的に検討

春季捕獲や年間を通じた捕獲等は、県の管理計画に基づくことから県内市町村と歩調を合わせて取り組む。



柿の木に数日間出没したクマ親子クマ駆除対応プロジェクトチーム  
岩手県警初出動＝11月18日  
（町中心部：岩泉太田地内にて）

うにハンターの養成や専門的知識の習得、資格取得など岩泉猟友会と協議し進めたい。

**問** 日常生活圏での捕獲等が可能な「緊急銃猟」制度にどう取り組むのか。

**問** 町長2期8年間の思いを

**答** 災害復旧復興成し遂げた

**問** 職員時代には、龍泉洞清水川釣りまつり、龍泉洞内ライトのLED化、龍ちゃん商品券を発行した。

**町長**に就任してから、は、危機管理課の設置、防災士の育成など、真に必要なとされる施策を適時適切に行ってきた



**三田地久志** 議員

一般質問・答弁  
全文はこちらから



大災害を乗り越え次の世代につなげる

**町長** この2期8年間、台風第10号災害からの復旧・復興を成し遂げるとの強い思いで町政に携わり、災害で荒れ果てた広大な岩泉の大地に、新たな種をまく環境を整えることができた。

今後も、災害の記憶を風化させることなく、防災・減災の重要性を次の世代につなげることが、「ふるさと岩泉」を再生する確かな一歩になる。

残すところひと月と22日。最後まで町政の推進に取り組んでまいりたい。

17文字の  
ひとりごと

災害と  
戦う首長  
引退す

# 第1回臨時会

# 龍ちゃん商品券

8年第1回臨時会は1月9日、国・県の補正予算に対応する龍ちゃん商品券（地域商品券）の給付と物価高対応子育て応援手当の支給についての補正予算を審議するため開きました。

町長から提出された7年度一般会計補正予算第5号を全会一致で可決しました。

ここでは、審議の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

## 給付

### 今後の予算活用への考えは 各分野で検討し後日提案

**問** 今回の物価高対策事業について異議はないが、国の交付金残額の約3000万円、他事業への活用方針をどのように考えているか。

**答** 交付金総額約1億9200万円のうち、今回の地域商品券を給付する事業などで約1億6500万円を計上した。残り約30

00万円については、現在各課にて検討中である。観光、商業、農業、畜産など、それぞれの分野で対応策を模索している。優先順位を慎重に考え、可能であれば2月中旬、もしくは3月定例会初日には新たな補正予算として提案したい。

**問** 物価高対策として、残予算の活用

について中居町長の任期中に決定して実施すべきではないか。

**答** 物価高対策における公平性や慎重な検討が必要との判断があった。そのため、今回の補正予算では商品券事業をまず実施し、残りの交付金については継続して検討していくこととしている。

## 地域商品券発行事業の内容

### 事業の概要

全町民に対して地域商品券（龍ちゃん商品券）を給付し、町民生活の安定と地域内経済の活性化を図る。

### 給付額

1世帯当たり2万円に1人当たり1万円を加算した額

### 商品券の発送予定

令和8年3月上旬から順次発送予定

### 事業費

1億6208万円



物価高対策として発行される商品券の見本



## お詫びと訂正

いわいずみ議会だより第212号（令和7年10月17日号）表紙で、下道久美さんのお名前のふりがなの誤りと5ページの金額に誤りがありました。お詫びして訂正します。（表紙）

誤：しもみちさん  
正：したみちさん  
（5ページ・小川地区複合施設初度備品購入）  
誤：9867万円  
正：987万円

## 傍聴者の声

12月定例会の傍聴者は延べ7人でした。傍聴された岩泉の佐々木さんから感想や議会に対する声を聴きました。



佐々木 保美さん  
（岩泉）

### 町民が関心をもつ 活発な良い議論を

しばらくぶりで議会を傍聴しました。質問者と当局の答弁者との間で活発な議論がされており、緊張感を感じました。持ち時間60分の中で、再質問の仕方を含め、傍聴に来た町民の皆さんが引き込まれるようなやり取りを期待します。今後においても、議会と町当局が積極的に議論を進め、町民に注目されるような議会にして頂きたいです。



質疑のその後

どうなりました...

# あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。

## 教育

# バリアフリー安全に配慮を 計画を変更し工夫して対応

令和7年第1回定例会  
新年度予算審査  
特別委員会

### 問

車椅子利用児童が2階で授業を受けるためのバリアフリー化予算について、1階で授業を受けられる体制は検討しなかったのか。進級に伴い2階等へ移動する際、昇降機利用における事故防止策の考えと具体的な対応を伺いたい。

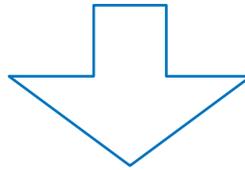
### 答

必ず大人がついて、一緒に上がっていかなければならぬと考えている。避難所となった場合、機械本体にジョイスティック的な機能を使い、大人は自分でも操作できる。どちらにも対応している。児童の

### まの声



岩間徳次郎校長先生 良好な学習環境  
連携し整備に努める  
(小川小学校)  
校舎のバリアフリーへの整備は見送りになりましたが、今後とも、保護者、教育委員会、関係機関と連携し、特別教室の改修などを進め、全児童の良好な学習環境の整備に努めてまいります。



令和7年第4回定例会  
【補正予算】

利用は先生やサポート職員がついて運用するよう形で考えている。

### 断念し代替案に変更

町は、計画していた小川小学校のバリアフリー化改修事業を中止することを決めた。国庫補助金の採択額が当初の想定を大幅に下回り、財源の確保が困難となったため。関連する事業費6237万5000円を減額補正する。

町は、特定財源となる補助金が想定通りに確保できず、やむを得ず事業を断念することとなった。

町は、代替案として学習環境を整えるため、特別教室を1階に変更し、対応した改修工事費として180万2000円を補正予算計上し、速やかな整備を目指す。

支援が必要な児童一人ひとりの状況に応じた改修が進められています。きめ細やかな視点で環境を整えることで、子どもたちの安全で円滑な学校生活を支えています。



壁を取り払い2室を1室に統合して広いスペースが確保された。



改修前のトイレ。2つの個室に仕切られており、スペースが限られていたため、車いすを利用する児童にとっては入り口や室内での移動が困難な状況だった。

次は、常任委員会レポート

総務

# 情報ツールや公共交通を調査

総務常任委員会（千葉泰彦委員長）は、8月から10月にかけて所管事務調査を実施しました。本ページでは調査した内容をお伝えします。

## ピーちゃんねっと

### 【現状を把握】

ピーちゃんねっとの運用は令和9年度未まで。新たな運用の方法を検討中。現在はLINEを活用し、周知を図っている。

### 【今後の町の取組】

## おしえてピーちゃん



所管事務調査って？  
所管事務調査とは、議会の常任委員会が、自らが所管する分野（総務、文教、厚生など）の行政事務について、条例の立案や政策提言などを目的に、自主的に行う調査活動のことです。議案審査とは異なり、政策形成の段階から関与し、町に具体的な改善策や新しい施策を提案することで、町政を監視・チェックし、より良い町政運営に貢献する役割を担います。

### 【所感】

スマートフォンを持っていない高齢者の調査結果をもとに、タブレットの配布や電波不安の対策も検討中。将来的にはAIなど新たなツールの導入も検討する。

慣れ親しんでいるピーちゃんねっとの運用が終了するというところで、高齢者を中心に不安が広がっている。スマートフォンを使いこなしている世代ではLINEやメールでの対応に順応できるが、

今後は個別の対応が必要。個々の状況把握とともに丁寧な説明が重要となってくる。

（富山昌典）

## マイナンバーカードの利便性

### 【現状を把握】

マイナンバーカードの利便性や今後の課題を調査した。

医療機関での受付に加え「マイナ救急」では、同意により救急搬送の混乱時にも患者の正確な情報が得られ、適切な救急処置が可能になり、病院到着後にすぐに治療を始めるた

めの準備などに役立てられる。  
【今後の課題】  
令和7年12月2日に現行保険証の発行が終了する一方、5年ごとの電子証明書の更新は現在「本庁のみ」の対応となる。円滑な移行と利便性向上が求められる。

### 【所感】

マイナンバーカードは、マイナ保険証として医療機関の受診で利用率が高くなっている。しかしながら、マイナンバーカードの5

年目の電子証明書の更新は本庁のみの対応であるため、各支所に端末機器を設置して、町民の方々の利便性を図る必要があると感じた。また、マイナ保険証、マイナ救急など、皆さんにとって有効と思われる場合は、マイナンバーカードを、大いに活用されることを期待しています。

（菊池孝広）

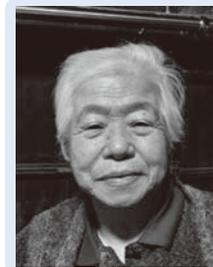
## 公共交通について

### 【現状を把握】

町内の公共交通の現状と課題を調査した。路線の運行主体や支援制度を確認したほか、利用実績と町の公費負担額を照らし合わせ、費用対効果を検証。通学バス運行業務契約の現状も把握した。

### 【今後の課題】

交通弱者の足を確保する公共性を守りつつ、厳しい財政状況を踏まえた持続可能な運行体制の構築が急務だ。



滝川 フカさん（小川）  
マイナンバーカードは、便利だと思いますが、更新には、本庁までの移動手段が大変です。支所でも更新できるとありがたいです。

## ますの声



野崎アイ子さん（小本）  
免許返納して3年、不便さにもやっとなれて来ました。移動手段は町民バスで助かってますが、貸し切り状態で走ってもらってる日が多く（えんりょ）な気がします。

（婁地照夫）

産業

# ナラ枯れや住宅対策を調査



ナラ枯れが拡大し、深刻な問題となっています。

産業常任委員会（畠山和英委員長）は、9月から11月にかけて所管事務調査を実施しました。本ページでは調査した内容をお伝えします。

## ナラ枯れ対策、早期相談を

### 【現状を把握】

ナラ枯れは進行が速

く広範囲で発生しており、町による全量駆除は困難なため、被害先端地に絞って作業を

実施している。有効な対策は、発生前後の早期伐採による森林の若返りであり、町は広葉樹を伐採しチップ工場へ搬出する場合に補助金を交付している。私有林の伐採は所有者が林業事業者に依頼する必要があるが、意思の無や対応速度に差があり対策が進まない課題がある。

そのため町は、事業者へ補助事業の説明を行い伐採を要請するとともに、相談者に対しては、先端地以外では

自ら林業事業者に相談し、木材の有効活用と伐採を進めるよう促している。

### 【所管】

今回の調査により、ナラ枯れ対策の難しさが浮き彫りとなった。

今後は、被害の拡大を少しでも防ぐために、予防伐採に重点を置き、町民への情報提供をさらに強化すべきと考える。また、具体的な補助制度の活用についても、農林水産課への積極的な相談を呼びかけていく必要があると考える。

（大山幸真）

## まの声

塚越 甲斐さん（岩泉）  
町民向けに木を切るための補助が必要。ナラ枯れ等に対応出来る専門の林業家の育成。自然環境への教育をすることが大事と考えます。



### 町営住宅問題

【現状を把握】  
現在、岩泉町には子育て世帯に対し低廉で優良な「子育て応援住宅」を12戸（戸建て・

家賃一律3万円）整備しているが、いずれも空きがなく需要が非常に高い状況となっている。

そのため、「子育て応援住宅」に入居を希望するも公募していない状況から申込ができない子育て世帯が、公営住宅法に基づく町営住宅に入居申込をした際、制度上入居の必須要件となっている「住宅困窮（住む場所に困っている状態）」に該当にならず、町内の居住を希望するも、結果として他市町村へ転出せざるを得ないケースが発生している。

### 【所感】

今後は、子育て世帯の流出を食い止め、定住を促進するためにも、子育て応援住宅のような需要のある形態に柔軟に対応できる取り組みや、町営住宅の空き部屋の活用等、新たな住宅施策の検討が必要である。

（林崎竟次郎）

# 獣害対応の 負担軽減と安全

表紙によせて

澤里寛行さんは、猟友会でクマ対策を手伝い始め、隊員の皆さんの苦労や危険性を目のあたりにし、遠隔での監視システムの必要性を感じ開発することになったと話す。害獣罠捕獲検知装置※として特許を取得したが、手作りで製作しているため量産できないのが悩みとも話す。クマ被害が年々エスカレートしていることに危機感を

感じ、対応している猟友会隊員の負担軽減と安全確保のため、やれることは貢献していきたいと笑顔で話してくれました。

※害獣罠捕獲検知装置

箱罠やくくり罠にかかった害獣をセンサーで検知し、自動通知する装置です。見回りの手間を大幅に削減し、安全を確保できることなどが期待されています。



装置を手作りで製作しています。

## 議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。(全日程はQRコードで)



議会の動き

- 10月
  - 4日 国道340号宮古岩泉間整備促進住民総決起大会（宮古市）
  - 24日 町社会福祉大会・老人クラブ大会（町内）
  - 29日 いわたの地域づくり・道づくりを考える大会（花巻市）
  - 27日 総務常任委員会所管事務調査（役場）
- 11月
  - 1日 平成28年台風第10号災害からの復旧・復興記念式典（町内）
  - 5日 宮古地区広域町村議会連携会議（田野畑村）
  - 7日 産業常任委員会所管事務調査（役場）
  - 11日 岩手県選出国會議員との懇談会（東京都）
  - 21日 岩泉町表彰式典（町内）
- 12月
  - 1日 議会運営委員会（役場）
  - 4日 第4回定例会 一般質問（議会議事堂）
  - 5日 一般質問（議会議事堂）  
第4回議会全員協議会（役場）
  - 9日 条例補正予算審査特別委員会（役場）  
本会議（議会議事堂）
  - 24日 流域治水シンポジウム2025（町内）

## 議会を傍聴しませんか

- 次の定例会は、
- 2月19日(木) 町長所信表明演説
  - 3月9日(月) 条例補正予算審査  
10日(火) 条例補正予算審査  
本会議
  - 12日(木) 一般質問
  - 13日(金) 一般質問
  - 3月16日(月) ~18日(水)  
新年度予算審査  
本会議
- の予定です。
- ※都合により変更となる場合があります。



どなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴へお越しください

## 広報広聴常任委員会

- |              |               |             |             |             |             |
|--------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 委員長<br>嶋山 昌典 | 副委員長<br>小松ひとみ | 委員<br>林崎寛次郎 | 委員<br>菊池 孝広 | 委員<br>巖地 照夫 | 委員<br>大山 幸真 |
|--------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|



町HP  
議会だより

広報広聴常任議員  
林崎寛次郎

▽広報広聴常任委員会  
が新しくスタートして  
から3回目の「議会だ  
より」発行となります。  
委員6名のうち継続が  
1名、4年ぶり8年ぶ  
りが各1名、初めてが  
3名、プラス、初の事  
務局担当者と全く新鮮  
そのものです。故に悪戦  
苦闘は続きます。▽今  
回の「議会だより」作  
成は、町長選挙を挟み、  
取材が選挙前、発行が  
選挙後となることから、  
町民の声「新町長に期  
待すること」「議会に期  
待すること」を企画し  
町民の声を聴きました。  
議会として「この声」が  
実現するよう努めます。

編集後記

古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問一答に寄与した紙」を使用しています。

